

介護人材確保の取組みについて

1 介護人材の現状

(1) 介護職員不足の見込み

本市が令和 4 年 12 月に実施した「介護保険事業者向けアンケート調査」によると、回答があった市内介護サービス事業者のうち、約 7 割が理想とする従業員数よりも少ない人数で事業を行っていると回答しています。

今後、要介護認定者が大幅に増加することが見込まれており、本市では令和 8 年度に約 1,700 人の介護職員不足が見込まれています。

表 1 介護職員の需給推計（本市）

	需要見込 (A)	供給見込 (B)	不足人数 (A)－(B)
令和 8 年度	16,729 人	15,021 人	1,708 人
令和 22 年度	19,124 人	14,900 人	4,224 人

（厚労省「第 9 期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数」より推計）

(2) 有効求人倍率

介護分野は、全産業に比べて高い状態です。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査（令和 5 年度）」の結果によると、「仕事のわりに賃金が低い」、「身体的負担が大きい」、「健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある」等の悩みを抱えており、職業選択においても、これらのイメージが理由で敬遠されていると考えられます。

表 2 有効求人倍率

		R1	R2	R3	R4	R5
全国	全産業	1.45	1.08	1.03	1.16	1.19
	介護分野	4.20	3.99	3.64	3.71	4.02
千葉県	全産業	1.29	0.90	0.86	1.00	0.99
	介護分野	5.12	4.77	3.87	3.87	4.13

（厚労省「職業安定業務統計」）

（千葉公共職業安定所「有効求人倍率の推移」）

(3) 採用率・離職率

介護職員の採用率は、全産業平均よりやや高く、離職率はやや低い状況です。また、千葉県の傾向としては、全国平均より採用率及び離職率ともにやや高くなっています。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査（令和5年度）」によると、介護関係の仕事を辞めた理由として、「職場の人間関係」が34.3%と最も高く、次いで「法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため」、「他に良い仕事・職場があったため」等が挙げられています。

表3 介護職員の採用率・離職率

		(%)	
		採用率	離職率
介護 職員	全 国	16.9	13.1
	千葉県	18.2	14.2
全産業（全国）		16.4	15.4

（厚労省「R5雇用動向調査」）

（介護労働安定センター「R5介護労働実態調査」）

(4) 給与

国の「処遇改善加算の実施」により、給与面での改善は進んでおり、直近では、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへとつながるよう、令和6年6月に処遇改善加算に係る加算が一本化され、加算率の引き上げが行われました。

また、国の令和6年度補正予算において、処遇改善加算を取得している事業所のうち、生産性を向上し、更なる業務効率化や職場環境の改善を図り、介護人材確保・定着の基盤を構築する事業所に対する支援（人件費に充てることが可能）が実施されています。

(5) 本市取組みの方向性

給与面での改善は進んでいるものの、人材不足は依然として解消されていません。

また、介護職員の悩みとして挙げられている「身体的負担が大きい」ことや、離職した介護職員が理由として挙げている「職場の人間関係」なども、人材確保が困難となっている一因と考えられます。

これらを踏まえ、本市の介護事業所全体の魅力の向上に取り組むとともに、介護職員の負担軽減と定着促進、資質の向上などの介護事業所や介護職員への支援を拡充し、本市に質の高い介護人材がより一層集まるような事業を「千葉市介護人材対策総合パッケージ」として多面的に取り組んでいるところです。

2 本市の人材確保対策の取組み

(1) 魅力ある介護事業所の育成支援

誰もが働きやすく、継続して就労できる介護事業所となるよう支援するため、新たに、介護現場の生産性向上と労働環境改善支援を実施します。

また、引き続き、処遇改善加算等取得支援を実施するほか、主任介護支援専門員の受講費用の一部を助成します。

- ① 介護現場の生産性向上と労働環境改善支援（新規） 【令和7年度 2,484 千円】
介護事業所の管理者を対象に、介護現場の生産性向上と労働環境改善に関する知識を身に付ける機会として、DX研修やメンタルヘルス研修、カスタマーハラスメント研修を実施
(令和7年度予定)
開催回数 計3回（各30人）
- ② 処遇改善加算等取得支援（継続：令和6年度～） 【令和7年度 1,597 千円】
介護事業所で働く職員の待遇向上の一手段である「処遇改善加算」の取得又はより上位の加算の取得を支援するため、アドバイザーを派遣
(令和7年度予定)
派遣回数 36事業所（最大2回）
(令和6年度実績)
派遣回数 19事業所
- ③ 主任介護支援専門員研修受講者支援事業（継続：令和6年度～） 【令和7年度 511 千円】
より質の高い介護サービスの提供体制を支える人材として必要な主任介護支援専門員の研修受講費用の一部を助成（補助額 2万5千円）
(令和7年度予定)
助成人数 20人
(令和6年度実績)
助成人数 0人
(研修終了がR7.2.17、当事業の申請期限がR7.2.28であったため。
なお、R6年度受講者は令和7年度に申請可能。)

(2) 介護職員・事業所への支援（負担軽減、研修、離職防止、定着促進）

介護分野へ新たに就労する介護職員を確保するとともに、介護の質の向上を図るため、引き続き、研修受講者支援事業を実施するほか、介護現場における職員の負担軽減のため、介護ロボットの活用を促進する事業を実施します。そのほか、介護職員のモチベーションの向上及び離職防止のため、概ね3年以上の介護経験のある職員を対象としたキャリアアップに資する研修を開催します。

① 介護職員研修受講者支援事業（継続：平成24年度～） 【令和7年度 17,000 千円】

介護職員初任者研修又は介護福祉士実務者研修を修了し、介護施設等に就労している者に対し、受講費用を助成（令和6年度より補助率・上限額を拡充）

（令和6年度実績）

助 成 人 数 230 人（初任者 75 人 実務者 155 人）

補 助 率 10/10

上 限 額 初任者 10 万円

実務者 15 万円

② 介護ロボットフェア（継続：平成30年度～） 【令和7年度 856 千円】

介護ロボットの有用性や活用事例の紹介、介護ロボット開発事業者による機器の展示・デモンストレーションを実施

（令和6年度実績）

開 催 日 令和6年11月20日

会 場 ホテルポートプラザちば

内 容 展示（ロボット・ICT機器） 37 法人

講演（介護ロボット導入事例の紹介等）

参 加 者 数 95 人

③ 大規模修繕時介護ロボット・ICT導入支援（継続：令和3年度～）

【令和7年度 474,176 千円】

介護施設の大規模修繕とあわせて行う介護ロボット・ICT 導入にかかる費用を助成

（令和7年度予定）

助成事業者数 13 者（令和6年度からの繰越1 者含む）

（令和6年度実績）

助成事業者数 4 者（令和5年度からの繰越4 者）

対象施設	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者 GH 等
対象経費	大規模修繕時に導入する介護ロボット・ICT 導入費用等 （大規模修繕の費用は補助対象外）
補助額	496 千円×定員数（上限額）

- ④ 介護事業者・介護ロボット開発事業者連携（継続：令和５年度～）【令和７年度 358 千円】
介護ロボットのさらなる活用に向けて、有識者や介護ロボット開発事業者による講演や導入事例の共有、参加者同士の課題解決を検討するための意見交換を行うワークショップを実施
（令和６年度実績）

開催日 令和７年２月１７日

会場 千葉市生涯学習センター

内容 有識者による講演、施設・介護ロボット開発事業者による導入事例紹介、意見交換

参加者数 １４人

参加者の声 ワークショップにおいて、以下のような意見が交換された。

- ・職員が業務に追われ、利用者と向き合う時間が取れない。介護ロボットの活用によりその時間を作ることに期待したい。
- ・管理者の理解が得られると導入が進めやすい。職員の中でも理解に温度差がある。導入を検討するチームを作れるとよい。
- ・積極的に職場内研修や勉強会等を行い、各事業所に適した使用方法を模索していく必要がある。

- ⑤ 中堅職員向けキャリアアップ研修（継続：令和５年度～） 【令和７年度 945 千円】

概ね３年以上の介護経験のある職員を対象に、今後のキャリアアップ等を目的とした研修兼交流会を開催し、中堅職員の役割について理解を促すとともに、他の事業所職員とのネットワークづくりを支援

（令和６年度実績）

開催日 令和７年１月１６日、１７日

会場 千葉市生涯学習センター

内容 キャリアアップに資する研修（次世代リーダーに必要なマネジメントの基礎知識、よいケアとは何か、チームに対話を取り入れる）

参加者数 ３２人

参加者の声

- ・コミュニケーション、リーダーとしての立ち位置など勉強になった。
- ・チームケアに必要なことについて、改めて考えるきっかけになった。
- ・同業者とのグループワークでは様々な視点や苦労を感じることができた。

(3) 多様な人材確保

将来的な介護人材の確保を目的に、市内の中学生を対象としたパンフレット配布事業を実施します。

また、介護分野へ新たに就労する人材を増やすため、合同就職説明会及び入門的研修を開催するほか、外国人職員を受け入れる介護事業所の負担軽減及び外国人職員同士の交流を目的とした、日本語教室を実施します。

① 介護の魅力向上（継続：令和6年度～）

【令和7年度 1,021 千円】

介護の仕事に対する関心を持つきっかけを提供するため、介護職の仕事内容や魅力を伝えるパンフレットを作成・配布

（令和7年度予定）

対 象 市内中学 1 年生

作成部数 9,000 部

（令和6年度実績）

対 象 市内中学 1 年生

作成部数 9,000 部

（配布したパンフレットは「総合的な学習の時間（職業調べ）」で使用）

② 介護人材合同就職説明会（継続：平成27年度～）

【令和7年度 1,263 千円】

市内介護事業所と介護施設へ就職を希望する求職者のマッチングを実施

（令和6年度実績）

開催日 令和7年3月1日

会場 ホテルポートブラザチバ

出展法人数 44 法人

参加者数 72人

③ 介護に関する入門的研修（継続：令和3年度～）

【令和7年度 1,455 千円】

介護分野へ参入するきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、介護未経験者を対象に研修を実施

（令和6年度実績）

開催日 令和6年11月から12月、令和7年1月から2月の各6日間

実施内容 基礎講座（3時間）及び入門講座（18時間） 計21時間

受講人数 68人

参加者の声

- ・講義だけでなく実技で体験することで、介護が必要になった人の気持ちや対応の仕方がわかってよかった。
- ・介護に興味を持ち、上位の資格の勉強もしたいと思うようになった。
- ・もう少しスキルアップして、近いうちに介護の仕事をしてみたい。

④ 外国人介護職員向けの日本語教室 （継続：令和2年度～） 【令和7年度 1,154 千円】

外国人介護職員の日本語力向上に伴うコミュニケーション能力及びサービスの質の向上等を図るとともに、外国人職員同士の交流の場とするため日本語教室を実施

（令和6年度実績）

開 催 日 令和6年 10 月から令和7年1月の12日間

会 場 千葉市民会館

内 容 日本で働くうえでのマナー、利用者とのコミュニケーション、介護の仕事で必要となる日本語について、午前と午後の2クラス開講

参 加 者 数 15 人

参加者の声 参加者へのアンケートでは、全員が授業を受けて「とてもよかった」と回答した。

参加者の所属する介護事業所へのアンケートでは、職場でのコミュニケーションが「非常に円滑になった」又は「円滑になった」と回答した事業所が約6割であり、日本語学習への意欲が「とても前向きになった」又は「前向きになった」と回答した事業所が約9割であった。

【参考】 国・千葉県の人材確保対策

表5 国及び千葉県の主な取り組み（●国 ○千葉県）

項 目	内 容
離職防止 定着促進 生産性向上	● 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 ○ 介護テクノロジー定着支援事業 ①介護ロボット導入支援 （【補助率】対象経費の3/4 【限度額】「移乗支援」「入浴支援」「その他」のロボット 100 万円、それ以外のロボット 30 万円、合計 740 万円） ②ICT 導入支援 （【補助率】対象経費の3/4 【限度額】職員数に応じて 100 万円から 260 万円） ③パッケージ型導入支援 （【補助率】対象経費の3/4 【限度額】最大 1,000 万円（介護ロボット合計 740 万円、ICT 最大 260 万円）） ○ 介護支援専門員研修受講料補助 （補助額）介護支援専門員資格更新に係る研修各課程 5 千円 主任介護支援専門員の資格更新研修 1 万円
多様な人材の 確保・育成	○ 介護福祉士を目指す学生への修学資金貸与（5 年勤務で返済免除） ○ 潜在介護福祉士に対する再就職準備金貸付（2 年勤務で返済免除） ○ 介護未経験者に対する入門的研修 ○ 50 歳以上の方を対象とした「介護職員初任者研修」 ○ 合同就職説明会「福祉のしごと就職フェア」 ○ 就職活動の相談、紹介・あっせん
外国人材の 受入れ環境整備	● 介護の日本語学習支援（WEB コンテンツ） ○ 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給に係る支援事業（千葉県留学生受入プログラム） ①マッチング支援 ②学費及び居住費支援 （基準額）日本語学校 5 万円/月（1 年間） 日本語学校及び養成施設在籍中の居住費 3 万円/月（3 年間） （補助率）1/2 ○ 千葉県外国人介護人材支援センターの設置 ○ 外国人技能実習生への日本語学習支援
介護職員の 処遇改善	● 処遇改善加算 H21 から R5 までに月額 9.2 万円相当改善、さらに R6 に 2.5%、R7 に 2.0%のベースアップとなるよう加算率の引き上げを実施 ○ 介護人材確保・職場環境改善等事業 処遇改善加算を取得し、生産性向上に向けた取組を行っている事業所に対し、職場環境等の改善又は人件費の改善に必要な費用を補助
介護職の 魅力向上	○ 学校の生徒等に対する介護の仕事の理解促進や出前講座の実施 ○ 福祉の職場体験